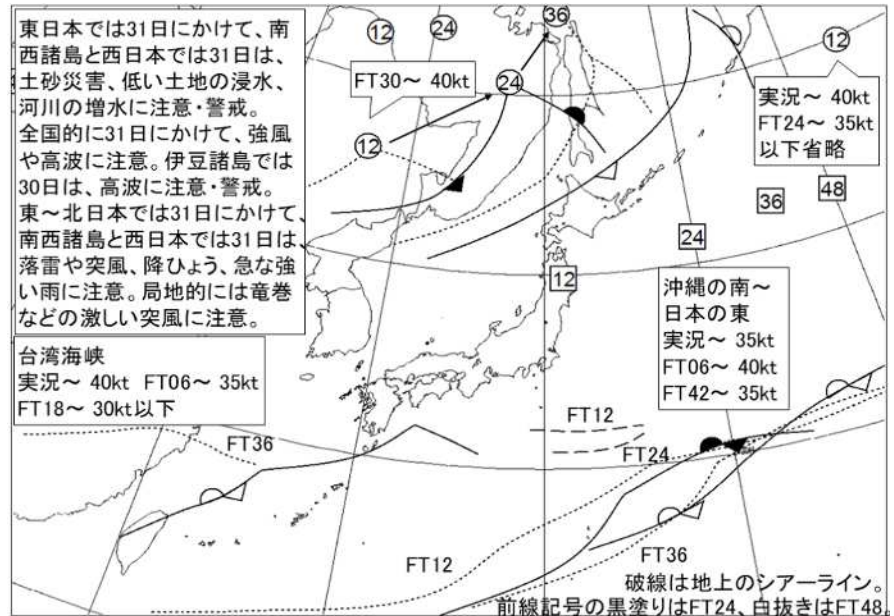


1. 実況上の着目点

- ① 前線が沖縄の南～小笠原近海～日本のはるか東へのびている。前線に向かう下層暖湿気の影響で、前線近傍の沖縄の南では強い雨を解析。
- ② 伊豆諸島付近から日本の東にかけて、地上のシアーラインがのびている。
- ③ 日本海に高気圧があつて、東北東へ移動。西～東日本は高気圧に覆われ広い範囲で晴れている。高気圧と①の前線、②のシアーライン、カムチャッカ半島の低気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、全国的にやや強い風が吹き、波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は30日にかけて、小笠原近海にのび、1項②のシアーラインは、30日にかけてゆっくり南下する。シアーラインや前線に向かう下層暖湿気と、30日に伊豆諸島付近を通過する500hPa 5820m付近のトラフによる上空寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。伊豆諸島と小笠原諸島では30日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。
- ② 30～31日は、500hPa 5340m付近のトラフに対応した低気圧が沿海州付近からオホーツク海へ進み、寒冷前線が北海道地方を通過する。前線の近傍では大気の状態が不安定となり雷を伴った強い雨の降る所がある。北海道地方では30～31日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ③ 500hPa 5760m付近のトラフに対応して、30日夜には華中で前線が顕在化。31日夜には東日本太平洋側にのび、前線上の西日本太平洋側には低気圧が発生する。前線や低気圧に向かう暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島と西～東日本では31日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 1項③の高気圧は、31日は日本のはるか東へ移動する。高気圧と2項①～③のシアーラインや前線、低気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。全国的に31日にかけて、強風や高波に注意。伊豆諸島では30日は、高波に注意・警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(18時からの24時間)：伊豆諸島120mm。
- ② 波浪(明日まで)：伊豆諸島5、北海道・沖縄4、その他広い範囲で3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。